

一般質問から

平成22年第2回定例会の

一般質問は、6月15日、16日、17日の3日間にわたり、17人の議員が45項目の質問事項について、市の見解を求めました。ここでは、各議員の主な質問と、それに対する市の見解を紹介します。
なお、詳しくは、8月下旬に更新予定のホームページをご覧ください。

用語 一般質問

一般質問とは、議員が市の仕事全般について、執行機関から現在の状況やこれからの考えを聞くことです。



保育行政について

Q 公立保育所の保育時間の延長を求める声が寄せられています。保育時間の改善ができないかお聞かせください。

A 近年、延長保育を利用する児童が増加しており、今後も増加する可能性があるものと考えていますが、現在のところ、保育所運営にあたって、待機児童の解消を優先して進めており、このために多くの臨時職員を雇用し、少しでも多くの児童を保育することができるよう努めているため、保育時間を延長するために職員を配置することが難しい状況となっています。

池谷 和代

このため、やしお花桃保育園の保育時間を決定する際には、公立保育所の閉所時間より遅い時間での閉所とすることができないか協議をした結果、公立保育所延長保育より30分遅く午後7時30分としたものです。
今後、延長保育に対する市民ニーズを的確にとらえ、近隣市の取り組み等について引き続き調査、研究していきます。

公共下水道事業について

Q 下水道施設は現在どのような維持管理を行っているのか、そして今後どのような維持管理を行っていくかについて伺います。

A 現在の維持管理は、管渠にあつては、築造年が古い箇所からカメラによる漏水や破損等の調査を順次計画的に進めており、マンホール内と蓋については、目視による調査を実施しており、必要に応じて修繕や改修等を実施しているところでございます。
今後の維持管理については、国におきましても、増大する社

柳澤 功一

会資本の蓄積と老朽化に対して平成20年度から施設のライフサイクルコスト（生涯費用）の最小化を図ることを目的に「下水道長寿命化支援制度」を創設しました。これからは施設管理費の増大が見込まれますが、計画的かつ効果的な施設管理を行うことにより、所期の機能を継続的に発揮していく必要があるため、国の計画の動向を注視しながら、検討していく必要があると考えております。

県道松戸草加線新中川橋開通イベントについて

Q 県道松戸草加線「新中川橋」がほぼ完成し、市民の皆様から開通時期について多く問い合わせがあります。橋が開通する際に、対岸の三郷市や県と連携し、開通イベントを実施してはと考えますが、市の考えをお尋ねします。

A 埼玉県越谷県土整備事務所に新中川橋の工事進捗状況と開通イベントについて確認したところ、工事については、早ければ本年の晩秋迄の完成を目標として現在鋭意工事中とのことです。河川を管理している国土交通省との協議等により、

朝田 和宏

確たる工事完成時期については未定とのことです。
開通イベントの実施については、県内他施設の記念式典事例を参考に、開通記念式典や記念行事及び協賛イベント等を予定しており、今後、八潮、三郷両市と協議を重ねてまいりたいとのことでした。
本市としても、開通イベント開催に向け、三郷市と共に積極的に協力していきたいと考えます。

八潮市みんなのでつくる美しいまちづくり条例について

Q 過去何度か取り上げています。八潮市を訪れた人の立場に立って、今いる場所がわかりやすい街づくりという意味から、市民に協力を求める前に、まず公共施設から地番表示をしようか。

A 今年12月制定予定の八潮市みんなのでつくる美しいまちづくり条例にちなみ、まず来年度27か所の公共施設に地番表示を設置していきたい。

森下 純三



国保施策について

Q 「正規保険証を持たない国保加入者が、受診が遅れたことから手遅れになってしまった」との調査報告が報道されています。

A 昨年9月現在の八潮市の資格証明書発行状況は、県内市で3番目に多い374世帯となっています。一方14市が未発行であり、県内市40市中未発行を含め31市が100世帯未満となっています。
市では、この間、18歳以下の子

鹿野 泰司

どもたち等への資格証明書を短期保険証に切り替えてきました。本市では、厚生労働省の考え方に基つき、負担能力があるにもかかわらず保険税を支払わない滞納者や、幾度となく接触する機会を講じても接触できない滞納者を納税相談に導くための方策として、資格証明書の発行は必要であると考えておりますのでご理解頂きたいと存じます。